

～車社会で暮らすということ～

佐賀県が交通事故全国ワースト1（人口10万人当たりの人身交通事故発生件数）を5年連続で更新していることをご存じでしょうか。

小城市で昨年1年間に発生した人身事故は426件で、毎日1件以上、市内のどこかで事故が発生していたことになります。

この数字を人身事故発生件数（人口1万人当たりの数／平成28年中）で見ると、県内20市町中ワースト8位と県平均より高い状況です。

車を運転することがもはや当たり前になったこの社会で、交通事故を減らすためには、一人一人の心がけが欠かせません。事故の原因を知り、私たちにできることを考えてみましょう。

人身事故とは

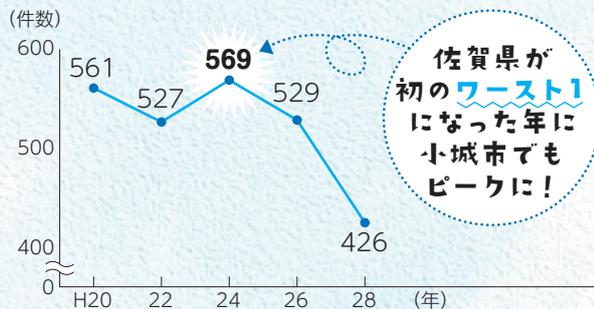
※歩行者、自転車、バイク、車など相手にけがを負わせた事故のこと。

佐賀県の人身事故発生件数 (人口10万人当たりの数／平成28年中)



市内の人身事故発生状況 (平成28年)

小城市発生的人身事故件数



佐賀県が初のワースト1になった年に小城市でもピークに!

全体として減ってきていますが、依然として高い状況です。

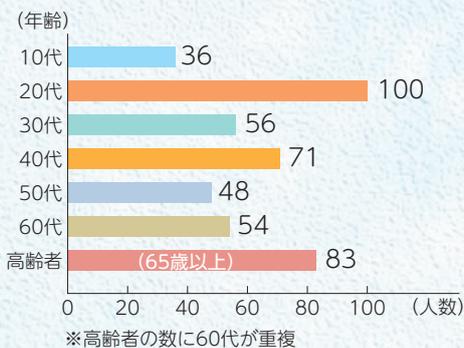
人身事故の原因

1位	追突……………	225件 (52.8%)
2位	出合い頭………	105件 (24.6%)
3位	右折・直進……	11件 (2.6%)
選外	駐車場事故……	26件 (6.1%)

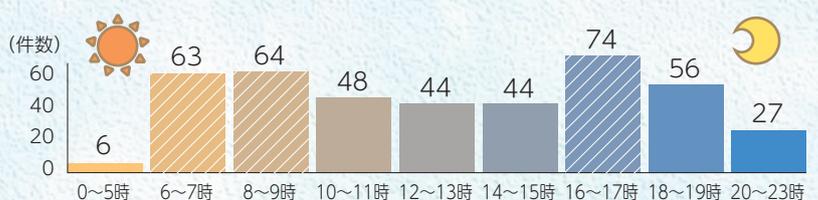
注目!

過半数を占める「追突」は、外の景色を見ていた、荷物を取ろうとした、などの脇見運転が原因で起こります。小城市では、スーパーやコンビニでの駐車場事故が多く発生しています。駐車場での事故は周囲への確認不足で起こっています。

事故を起こした人の年齢



事故の発生時間



朝や夕方の通勤の時間帯に20代・40代の事故が多発しています。

高齢者の事故は早朝の散歩中や病院、店が開く10時以降に起きる傾向があります。



小城市内の事故が多い場所はココ！

国道203号線で特に多く発生しています。



畑田交差点

交通量が多い交差点のため、運転中に脇見をして前の車が止まったことに気付かずぶつかったり、信号が赤に変わろうとしている時に「前の車も進むだろう」と思い込んで追突する事故が起きたりしています。



砥川新宿交差点

国道34号線上にあることから交通量が多く、加えて交差点付近が緩やかなカーブになっています。そのため信号を見落とした車が止まりきれずに、右折待ちの車や前の車にぶつかる事故が多発しています。



地図の見かた

交通事故が多い交差点

交通事故が特に多発しているエリア



安全運転のまちを 目指して



小城警察署 交通課長
えじま ひろみ
江島 宏実さん

昨年の市内での人身事故発生件数は426件と減少傾向にはありますが、依然として高い水準です。

市内では追突事故が一番多く、考えごとや脇見運転など他のことに気をとられての事故が頻発しています。「こんなところでは止まらないだろう」「今までこの道で事故を起こしたことがないので大丈夫だろう」と、いわゆる「だろう運転」をしてしまいがちです。自分の運転を過信せずに、ルールやマナーを守ることが自分の命を守ることにつながります。

警察としては、ドライバーの皆さんに基本的なルールを守っていただくため、取り締まりを強化しています。また、学校での交通安全教室や企業に出向いての講習、街頭での啓発活動にも力を入れています。

人身交通事故発生マップを作成したり、講習会を行ったりして事故防止に努めています！



▲平成28年 小城市内の人身交通事故発生マップ



▲講習会で夜間での歩行者の見え方を確認

昨年は、市内の事故の現状を知ってほしいとの思いで交通事故の発生箇所を記したマップを作成しました。マップを見ると、事故件数の多さや特定の箇所が発生していることなどを知ることができます。

大きな事故は被害者・加害者の双方を不幸にします。事故を減らすために、日ごろから緊張感を持って集中して運転してほしいと思います。

追突事故の防止のための「みつつの3」

1 「3秒間の車間距離」

適度な車間距離をとるため、信号では前の車が発進してから3秒後に動き出し距離をとりましょう。

例) 前の車が動いてから3秒後に出発！

1・2・3、GO!

2 「3秒・30メートルルール(方向指示器)の徹底」

急ブレーキ、方向指示器の合図忘れや遅れが事故につながる場合もあります。

早めの合図で後続車に知らせましょう。

3 「3分前の出発」

いつもより、わずか3分間でも早めに出発することで、時間的にも心理的にも余裕が生まれます。



交通ルールを守ることが、 事故を減らす第一歩!

ドライバーのあなたへ

- 制限速度を守りましょう。
- よそ見をせず、しっかり前を向いて運転しましょう。
例) 通話! よそ見! 居眠り! はダメ
- 時間と車間距離にゆとりを持ちましょう。
- 「止まるだろう」「大丈夫だろう」の“だろう”運転ではなく、「飛び出してくるかもしれない」「止まるかもしれない」などの“かもしれない”運転を心がけましょう。
- 信号を厳守し、黄色信号で止まりましょう。
- 早めのライト点灯
- 歩行者・自転車の保護
→横断歩道で渡ろうとしている歩行者がいたら止まりましょう。



寝不足での
運転は
危ないぞ!



走行中の
スマートフォンの操作は
絶対にダメ!

歩行者のあなたへ

- 道を渡る時は右・左・もう一度右を見て確認しましょう。
- 夜間の歩行は反射材を身に着けましょう。
- 横断歩道を渡りましょう。
→横断歩道がない場所での無理な横断は危険です。
- 歩行者用信号がある時は、信号に従いましょう。

車を運転する人

だけではなく、

歩行者も気を付けよう!

反射材で自分の存在を
ドライバーに知らせましょう!



横断中は
車に見えるよう
しっかりと
手をあげて!



ルールを守って

目指そう! Safety Driver

セーフティ・ドライバー

問 防災対策課 (西館2階) ☎37・6119 [担当] 右近・友田

